

移住者交流会

～甲賀市の良さについて参加者の声～



古い建物の中に新しい
お店があるなど新旧が
融合したまちですね



移住者どうしの
つながりが
でさばいいな



人があたたかいですね



移住するための
情報が、いっぱい
あればいいな



コスモス畑



朝霧のダム湖
「青土ダム」

水清き野洲川

豊かさって 何だろう？

小さいときに遊んだあの場所、今も変わらない風景、また一方でコロナ禍により外出が制限されてきたことから身近なところに「こんなに良いものがあったんだ」と新たに発見された方もあるのではないのでしょうか。

今月は「豊かさ」をテーマに移住者交流会や若者が中心となったまちづくり活動を通じて考えてみました。

波多野悠佳さん



▲「奥深くてももしろい信楽が大好きです」と話す波多野さん

ウターンにより信楽に移住。現在は信楽でサロンのお店を開く傍ら最近ではクラウドファンディングにより朝宮茶のお土産をプロデュース。

点がつながれば無限の可能性

「小学校2年生のときに京都から信楽に来ました。そこから一度仕事のために神奈川県に行きますが、5年前にお店を開こうと信楽にUターンで移住してきました。小さい頃は近くにお店がたくさんある便利で楽しいところに住みたいと思っていました。今のお店を開くにあたり人が集まる大津や草津を考えましたが、少し違ったことをしたいと思い、一度地元である信楽を見直してみようと考えました。

不動産会社や知り合いなどに聞いたりにして、たまたま

武市智子さん



▲「温かい人柄が大好きです」と話す武市さん

大阪府出身、バスガイドをしていた経験から現在も滋賀県地方ガイドとしても活躍中。これまで10年間、信楽で手作り市である「げなげな市」を主催。

一言では表現できない良さ

「約20年前、自然の中でゆっくりと子育てをしたいと思い大阪から信楽へ移住しました。たまたま友人との会話がきっかけで自分の生まれ育った大阪から日帰りで行けることを知ったことが大きな理由でした。今では周囲から武市さんって移住して来られたの？と聞かれるくらい地域に馴染んでいる印象があるようです。」

バスガイドや移住の経験を活かし観光ガイドとしても活動する武市さんは現在、環境活動や空き家問題に取り組み、古民家再生プロジェクトや移住したい方と空き家をつなぐNPOの設立に向け奔走されておられます。

「甲賀市は、歴史、文化、自然

信楽を会場に開催された「移住者交流会」、京都や遠くは東京から移住を考えておられる方や数年前に移住された方などが参加され、お互いに意見交換や信楽のまち歩きを体験されました。同交流会にゲストとして参加されたお二人にお話を伺いました。

イベントのボランティアスタッフをした時に参加者の一人から隣の空き家を紹介いただき、その古民家をお借りしお店を開くことができました。

オープン当初は信楽焼や朝宮茶などのことをブログに書くことで信楽のことを知ってもらい集客につながりました。最近ではお土産のパッケージ企画や、お茶缶のデザインを使った一筆箋を作りました。現在も小さい頃の経験と移住してきた経験を活かしながら、大好きな信楽で暮らし続けています。

甲賀市は、歴史や文化、信楽焼、お茶などあらゆるものがあります。いろいろなものがつながれば、無限の可能性が広がるのではないのでしょうか。」

今後甲賀市を全国に発信いただくようよろしくお願いします。



などの素材がたくさんあります。ありすぎて一言では言い表せないところがある良いのではないのでしょうか。私自身、いろいろな地域を見てきた中で甲賀市は移住者をすんなりと受け入れてくれる懐の深い人柄や土地柄が大好きです。」

空き家と移住者のマッチング、この課題に真直面から挑戦する武市さん。甲賀市の良さをさらにのばすため、オール甲賀でがんばりましょう。

